

歩 ~あゆみ~

共生と創造 ~ あじさい看護福祉専門学校の教育理念 ~

あじさいは、性質の異なったひとつひとつの花が集まって一輪の花となる。

人もまた人として生まれ、人間となるために、社会、文化の影響を受けて自らも構成員として環境を創造していく。これはあたかもあじさいが、陽光や水を受けて、土壌(環境)の変容を受け止め、その色や形が自在に変化していく様にも似ている。花は水の青になじみ、誰にも好かれ、和をもって一輪の花となる。看護・介護もまた、人と人との出会いではじまり、共に生き、創造していくものである。

学生はあじさいの如く、人との交流を通して変容し、自己の内にエネルギーを育んでいく。

そして、将来個人との相互交流を豊かにし、個人に応じた看護・介護が創造できるエネルギーを持ち続けることが重要である。

ここに共生と創造を謳う。

なお、あじさいは美濃加茂市の花である。



平成23年度 あじさい看護福祉専門学校 入学式 介護福祉学科

2011年4月5日



入学式で式辞を述べる山田学校長



平成23年度 あじさい看護福祉専門学校 入学式 看護学科

2011年4月5日



↑ すっかり仲良くなってピース! →

新入生歓迎会にて

← 借り人競争でぐるぐる★フラフープでぐるぐる…回ったり回したりで大変! →

73名の入学生を迎えました \ (^o^) /

校門横のしだれ桜が満開となった4月5日(火)、平成23年度入学式を挙行し、看護学科45名、介護福祉学科28名の入学生を迎えることができました。

今井雅人衆議院議員はじめ多くのご来賓が列席してくださり、保護者の皆様や教職員が見守る中、総勢73名の入学生が目標に向かって新たな一歩を踏み出しました。

山田實紘学校長は「未曾有の大震災で困難な状況に置かれている人たちが沢山いるが、この学校で学び卒業する時にはその人たちを助けられる皆さんになっている。努力を惜しまず勉学に励んでください。」と新入生に語りかけました。

新入生を代表して看護学科 貝崎令子さん(岐阜県立岐阜北高校出身)が「優れたスキルを持った人材に私もなりたい」と誓いの言葉を述べました。

* * * * *

4月9日(土)には新入生歓迎会が行われました。実行委員会が半年以上前から準備してきましたが、今回の震災を受けて少しでも被災者の方々の力になりたいと、費用を大幅に削減して募金にまわすことになりました。

派手さはないものの、面白いコメント付きの教職員紹介やゲームで交流をはかり、心温まる一日となりました。



Contents

- ▼ 入学式 / 新入生歓迎会
~73名の入学生を迎えました~
- ▼ TOPICS
看護:AED講習/イクメン紹介
介護:対面式
- ▼ ギョーカイなう
鈴木敏恵先生の未来教育講演会
- ▼ ころろ@あじさい
- ▼ 看護・介護に役立つ頭の体操
- ▼ はじめまして!(新入生紹介)
- ▼ 学校説明会のご案内

歩 ~あゆみ~

TOPICS

◆ 看護学科 AED講習 ◆

看護学科の2年生は、突然切迫した危機状態に陥った人への看護を学ぶ「クリティカルケアⅢ」の授業の一環として、AED講習を受講しました。可茂消防事務組合の中消防署からお越しくださった救命救急士の方にご指導いただき、AEDを使った心肺蘇生法の演習を行いました。この講習に先立って救急看護についての講義を受けており、学生たちの表情は真剣そのもの。受講した学生42名全員が、無事に修了証を手にすることができました。

この後「クリティカルケアⅢ」では、災害看護の単元で救急救命士によるトリアージ(災害時に、最善の救命効果を得るために傷病者を重症度と緊急性によって分類し、治療や運搬の優先度を決定すること)の演習や在宅における災害時の対応について学ぶことになっています。災害に対する意識が高まっている今、ますます熱気にあふれた授業になることでしょう。



◆ 介護福祉学科 対面式 ◆



介護福祉学科では4月8日(金)に対面式を行いました。これは介護福祉学科の恒例行事で、学科内の親睦をはかり、一体感を深めることを目的としています。

2年生がこの日のために準備した2つのレクリエーションゲームで大いに盛り上がり、参加した新入生からは「先輩や同級生と色々な話をするきっかけができ、仲良くなれた。」「年齢の離れた人には声をかけられずこいたが、今日で仲間になれた気がする。」等の声が聞かれました。

◆ 看護学科 イクメン紹介 ◆

イクメン・・・子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。最近社会で非常に注目され、話題になっています。なんと厚生労働省も「イクメンプロジェクト」をスタートさせているほどです。そしてここあじさいにも、イクメンが数名います。今回はその中の1人、看護学科3年生 小栗健二さんを紹介します。

* * * * *

私は8年間の社会経験の後、「人と人の関わり」を大切にしたい看護の視点から医療を学びたいと思い、本校に入学しました。

講義や演習、実習にと多忙な日々を送る学生生活は、家庭を持ちながらの30代を過ぎた学生にとって、少々キツイところもありますが、楽しく充実した時間を過ごしていると感じています。勉学に追われ、看護に悩み、疲れを感じることもありますが、帰宅すれば妻の手料理と妻・息子の笑顔によって癒され、学業と家庭の両立もそれほど苦には思っていません。家庭を持つ特権として、母性看護学や小児看護学では、妻の妊娠・出産をともに体験したことや、息子の成長・発達を通して、より理解を深めることができました。言い換えれば、妻と息子の存在が私の学習・演習のモデルというわけです。また、クラスには同じ境遇の心強い仲間もいて、私の学生生活の支えとなっています。

しかし、学生生活を送ることで、普通の家庭に比べ家族サービスの時間が少ないのは事実であり、妻や息子には申し訳なく思っています。そんななか私が唯一、家庭で毎日行っていることは、息子と男同士の裸の付き合いです。それは短い時間ではありますが、息子の成長を感じ、父親を実感できる至福のひと時なのです。

こんな私のやりたいことに対して理解してくれた妻をはじめとする家族、および私を支えてくださっている方々にはとても感謝しています。そうした方々のためにも、今以上に家族との時間を大切にしながら、これからも看護の学びを深め、成長していきたいと思えます。



ギョーカイなう 鈴木敏恵先生の未来教育講演会

入学式翌日の4月6日(水)、“意志ある学び”をキーワードに未来教育を構想、実践する第一人者、鈴木敏恵先生による講演会を開催しました。本校では毎年この時期に鈴木先生をお招きし、これから専門職業人を目指してどのように学習していけばよいのかを学び、再確認しています。いつも明るくパワフルな鈴木先生のお話は、ポートフォリオの作成方法やプロジェクト学習の進め方など具体的で、またポジティブな視点や思考で常に前進していく先生の人柄と笑顔は参加者のやる気をわき起こさせる魅力にあふれていました。



【参加した学生の感想】

◎ポートフォリオを作成することで、自分が何かを学んでいくプロセスが一目でわかるということに魅力を感じた。(看護学科1年 石原愛理)

◎「知の獲得」の機会は、学校の講義だけでなく日常のあらゆる場面にあると感じた。(看護学科1年 中村祐介)



◎昨年講演を聞いて実践してきたが、今回改めて話を聞いて振り返ることができた。ゴールシートをしっかり作れていなかったと気付いたので、早速見直したい。(介護福祉学科2年 野崎博行)

◎2回目の講演だったが、今回もまた新たな学びが沢山あった。コンピテンシーを身に付けて、1つ1つの学びをいろいろな場面で活用できるようになりたい。(看護学科2年 上野絵里子)

◎実習の時に作成したポートフォリオで実習終了後にも問題点を振り返ることができ、また失敗からも多くを学ぶことができた。再構築の際も考察に役立ち、知識を深めることができた。今後もポートフォリオを活用していきたい。(看護学科3年 横山浩人)

～ Information ～

鈴木敏恵先生のウェブサイトには未来教育に関する有意義な情報がいっぱい！
“意志ある学び”を実践していくためには必見のウェブサイトです。是非チェックしましょう！

<http://www.suzuki-toshie.net/>

東日本大震災で被災された方々に対する支援について

学生有志が中心となって“自分達が今できることは何か”を考えた結果、本校では支援の第一弾として義援金を送ることを決め、校内で募金活動を行いました。そして、4月28日に209,817円を中日新聞社会事業団岐阜支部にお届けすることができました。復興への長い道のりを支えるため、本校では今後もこのような活動を継続して行っていきます。

教員によるリレーコラム 第4回 こころ @ あじさい

4月には看護師、介護福祉士としての未来をめざして73名が入学しました。これからのあゆみに喜びと誇りをもって進んでいってくれることをこころから祈っています。

東日本大震災から2ヶ月たちました。いろいろな報道がされていますが、医療介護においても命を賭して患者さんや利用者さんを護ろうとした看護師や介護職、自らも被災者でありながら、不眠不休で被災者の看護介護にあたる姿、その使命感に胸打られました。

被災地では、いまなお避難生活を強いられ、心身共に不安定な状況である方が多くいらっしゃると思います。このような時にこそ「優しく温かい手」「穏やかな眼差し」が求められます。

どのような状況にあっても看護師、介護福祉士としてお役に立てるよう、私たちは今自らの能力を引き出し磨かなければならないと思う日々です。

副学校長 鈴木俊子



看護・介護に役立つ ★頭の体操★

数学

問. 身長160cmの人の標準体重は何kgか。四捨五入して整数で答えなさい。

※標準体重(kg)=(身長m)²×22

国語

問. 下線の語句を、漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ①下半身が麻痺している。
- ②せつとくりよくのある説明。
- ③はいせつケアの基礎を学ぶ。

答えは最後のページ、一番下にあります。

はじめまして！私たち新入生です



看護学科1年 神戸 美香

出身高校／岐阜県立長良高等学校

あじさいに入ってからまだまもないですが、クラスが楽しく、先輩方も優しく、素晴らしい先生方のもとで看護学が学べることを嬉しく思っています。

勉強を進めていくうちに、本当に自分は看護ができるのだろうかと不安になることが沢山あるけど、一方で看護の素晴らしさ、生命の大切さを実感でき、看護職を選んで良かったと改めて思えます。技術だけでなく、自分自身、人としても成長できるので、これからも人間性豊かな看護師にもなれるよう頑張っていきたいです。



介護福祉学科1年 長瀬 貴弘

出身高校／長野県立木曾青峰高等学校

入学して最初に思ったことは、年齢層の幅が広いということです。今までずっと同年代の人たちと関わってきたので、年の離れた人たちが多くて驚きました。年代が全く違う中でやっていけるのかと不安もありましたが、クラスの皆はとても親切で、社会経験のある人達からもいろいろなと吸収できたりして、とても充実した毎日を送れています。高校の時に比べて90分の授業は大変ですが、その分専門的な技術を学べてやり甲斐を感じています。よい仲間と先生に恵まれて私は幸せです。これから学ぶべきことは多く、大変なことと思いますが、精一杯勉学に励んでいきたいと思っています。

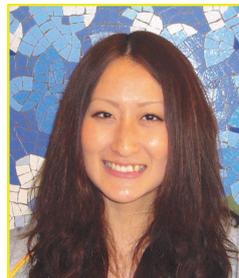


看護学科1年 山本 祐実

出身高校／岐阜県立東濃実業高等学校

入学して、一カ月がたちました。この一カ月は私にとって、とても早く過ぎたような気がします。ただ早く過ぎただけでなく、毎日が充実していました。新しいことを学ぶ毎日が楽しく充実しています。授業はとても興味深く、「もっと学びたい」という意欲が絶えません。クラスは年齢層が広いので、それぞれの経験を生かし

刺激し合い自分の考えを深めていきたいと思っています。今後さらに専門的なことを学び覚え、実習に向け、一分一秒を大切に目標を達成できるよう頑張っていきます。



介護福祉学科1年 木一 琴美

出身高校／岐阜県立飛騨神岡高等学校

初めは90分という長い講義に慣れず、戸惑いました。しかし先生方は実体験も含めて話をしてくださるので、とても分かりやすく、楽しく講義を受けることができています。

演習では、グループ内で意見を出し合ったアドバイスし合いながら取り組んでいます。

クラスは年齢層が幅広いので、様々な意見を聞くことができます。またクラスメート達から吸収することも多くあり、とても充実した環境で学習しています。

学校説明会を開催します

知る・楽しむ1日！皆で来てね♪

7月24日(日)・8月1日(月)・8月2日(火)

各日も午前・午後の2回、3日間で全6回の開催です。当日参加もOKですが、事前予約の方には特典あり！！

●タイムスケジュール ※午前の部と午後の部は同内容です

午前の部／午後の部	内容
9:00 / 13:00	受付開始
9:30 / 13:30	オリエンテーション
9:50 / 13:50	学校紹介
10:20 / 14:20	学校内見学、実技体験
11:00 / 15:00	在校生との談話会、入試・入学に関する説明
12:00 / 16:00	終了(希望者のみ個別相談)

昨年度の様子(看護学科・血圧測定の実技体験)



●ご予約はTEL、FAX、メールでどうぞ。
在校生・職員一同お待ちしております！



学校法人あじさい学園 あじさい看護福祉専門学校

〒505-0022 岐阜県美濃加茂市川合町4-6-8

TEL: (0574)28-2131 FAX: (0574)28-2130

<http://www.ajisai.ac.jp> e-mail: info@ajisai.ac.jp

携帯サイトは
こちらから

